

第6号様式（第5の2関係）

議事概要

会議名	令和7年度第2回 阿久根警察署協議会
会議日時	令和7年11月26日 水曜日 午後3時から午後5時
会議場所	阿久根警察署会議室
出席者	1 警察署協議会 会長以下4人 2 警察署 署長以下9人

（会議の概要）

第1 警察署長からの管内概況説明

第2 前回協議会における委員からの意見・要望に対する推進状況の説明

〈意見〉大型スーパーから折田に抜ける丁字路にロードミラーが設置されたらよいと思う。

〈説明〉ロードミラーの設置に関しては前回説明したとおりであるが、場所によって道路管理者が違うので、要望の場所があれば署の方へ相談していただければ、関係先へ伝達したい。

〈意見〉信号機横の標識「鷹巣」が薄く、文字が見にくい。遠方から来た人達はこの標識を参考にして走っていると思うので見やすくしてほしい。

〈説明〉道路管理者が設置する標識であることは前回説明したが、県の北薩地域振興局に確認したところ、管内全体の薄い標識を確認して、更新の準備をしているとのことで、近いうちに更新されるものと認識している。

〈意見〉大川地区から尻無浜地区に抜ける道で、止まれの標識がある交差点で停止線が引かれていた跡はあるが、線が消えている。工事や廃品回収の集落外の車が増えている、視界も悪いので停止線が明示されたらよいのではないか。

〈説明〉要望を受けた翌日には、交通課員が現場を確認して、応急的な対応として缶スプレーによる簡易的な補修を行っている。正式な補修は、警察本部に上申をしており、本年度中に工事がなされるかわからないが、追って正式に補修されるものと思われる。

〈意見〉段差のない歩道に車が駐車や停車をしているのを見かける。小学校の児童館や通学路は、児童が車道側に避けるのを見かけて危ない。

〈説明〉警察官が通常勤務中に確認した場合は、広報して指導警告を行っている。また、機会をみて広報紙等による広報も行いたい。

〈意見〉阿久根駅のロータリー入口で、出水方向に進行する車が手前の進入禁止場所からロータリーに進入するのをよく見かける。進入禁止の標識が分かりにくく。また、川内方向に向かう車が鮮魚店の前で右折する車も多い。

〈説明〉前回説明のとおり標識や標示は適切にされているので、標識標示の面ではこれ以上の対策は厳しいかと思われる。国道3号の右折できない所での右折については、交番等のミニ広報紙10月号の裏面に写真付きで掲載して広報している。また、パトカーや警察官が巡回中に違反者を見かけた場合は検挙措置を取っているので、徐々に周知していくものと思われる。

第3 質問、答申

〈質問〉

防犯カメラの設置について御意見をお伺いしたい。阿久根署管内は、防犯カメラの設置状況が低いと感じている。防犯カメラは、犯罪の未然防止に効果がある。事案が発生した際には、早期解決が住民の皆さん安心安全に繋がり、早期解決のためにも有効なツールだと思われる。

防犯カメラについてどのような認識なのか、自宅や職場に防犯カメラを設置することに抵抗や設置しない理由があるのか、どのような働きかけをしたら普及に繋がるのかについて御意見をいただきたい。

〈答申〉

委員 阿久根市は防犯カメラは設置しているのか。それとも個人で設置しているのか。

回答 阿久根市は、市の管理している建物などには設置してあるが、見守りカメラは設置されていない。長島町は設置されている。

委員 防犯カメラは自治体が取り付けているもので、警察が設置しているものはあるのか。

回答 通常、警察が防犯カメラを設置することはない。

一般家庭に防犯カメラが普及しないのは、抵抗があるからか。

委員 自宅には犬がいるし、田舎なので安心している。

委員 一般家庭は必要だと思っていないのではないか。
委員 私は、事業所にダミーのカメラはついている。動物避けなどの暗くなった時に赤いフラッシュがつくものでも、抑止効果があると聞いたので、事業所や自宅の車庫に設置している。それだけでも抑止力があると思う。
委員 広報誌に防犯カメラの重要性と事案の発生状況などを掲載することにより住民の防犯意識が高まり、防犯カメラの必要性を感じると思う。
委員 区長会や防犯協会などがある時にでも地域の方々に防犯カメラの設置について話をしてみようと思う。防犯カメラは身を守るという意味でも大事であることを認識した。

第4 意見、要望

〈要望〉 多田交差点の横断歩道が薄れており、年配の方が渡るのを躊躇している場面を見かけたので線を引いてほしい。
〈回答〉 要望箇所については当署でも把握している。標識標示の補修は警察本部の方で一括してやっており、早めに補修してもらうようお願いをしているので、次の工事で対応できるものと考えている。
〈要望〉 今年の7月頃、外国から友達が遊びに来えていて、その友達が長島町の公園に忘れ物をしてしまったが、新幹線で移動する時間もあったので探しに行くことができず、私の弟を探しに向かわせたところ、近くの駐在所に落とし物で届いていることが分かった。弟が駐在所に行き、落とし物を簡単に受け取れると思っていたが、本人確認ができないことで受け取れなかった。
落とし物はカメラで、友達が日本各地を旅行して撮影した思い出が詰まっていたものだったので直ぐに本人に渡したかったが、受け取れないまま海外に帰ってしまった。鹿児島ではあまりない事例かもしれないが、外国人が多く訪れるところではあり得ることなので、本人確認ができる方法を新たに作ってもらいたい。
落とし物のカメラは、後日、本人が作成した委任状で私が代わりに受け取り、先日本人が新潟に来ていたので配達して返還している。
〈回答〉 間違った人に返してはいけないということで厳格に取り扱っているところである。御意見のように外国からの旅行客や時間に限りがある方もおられるので、規定が作れるかは別として、臨機応変な対応ができるように今後検討していく。
〈質問〉 夏の午前3時頃、若者が阿久根駅に車を停めて大きな声で話していたことがあり、私の家は駅の直ぐ近くだったので、私の夫が外に出て注意した。トラブルに発展することはなかったが、夫が注意に行く際は心配になった。このような場合はどうすればよいか。
〈回答〉 トラブルに発展するおそれがあるので、そのような場合は警察署に電話してほしい。
〈質問〉 東北の方では熊の被害があるが、管内で猪による人畜への被害はないか。
〈回答〉 野生動物による人への被害については認知していない。ただ、車が鹿や猪と衝突する事故は頻繁に発生している。
〈質問〉 特に国道3号で右折待ちの車両が連なっている状況を目にする。
 トラックの運転手は思いやりがあって譲ってくれるが、道路を譲ることは、運転手の思いやり以外にないのか。
〈回答〉 無理に譲ると、例えば、その死角を二輪車が走ってきた場合は、事故に繋がる危険性もあるので、右折車に進路を譲るという指導は難しいと思われる。

第5 警察活動の紹介

鑑識係員による指紋、足跡採取状況を紹介した。

備考	
----	--